

# 立命館経済學

第46巻 第5号

1997年12月

故日高正好教授追悼号

内 容

故日高正好先生追悼号に寄せて……………杉	野 園 明	1
日高正好君を偲んで……………宮	地 國 敬	3
——その著書といくつかの思い出——		
天啓としての民衆芸術……………奥	村 家 造	7
先住アメリカ人作家の世界……………須	田 稔	28
「英語文学」論序説……………大	本 達 也	45
ヘンリー・ヴォーンの詩 The World における		
永遠と時間……………西	村 尚	62
コンピュータ利用による英語教育の可能性……………吉	田 信 介	67
——実践事例とその問題点——		
トマス・ヒューズ『トム・ブラウンの学校生活』再読…大	井 靖 夫	88
サリンジャーとその周辺たち……………森	川 展 男	105
——ニューヨークに舞うユダヤ系作家たち——		
ダーシィ・マクニクル『包囲されて』……………西	村 頼 男	121
——合衆国先住民の小説——		
Golden Apple への道程……………岩	田 典 子	128
——“A Solemn Thing within the Soul”を中心に——		
『オリヴァ・トゥイスト』の日本語訳……………藤	村 公 輝	136
——ディケンズ翻訳史のひとつこま——		
「イーサン・ブランド」……………高	島 清	149
——〈許されざる罪〉の本質——		
20世紀の版本と編纂における Q 1 Hamlet……………野	口 忠 昭	158
J. London, The Road—19世紀アメリカ社会の		
インサイド・ストーリー—を読む……………辻	井 榮 滋	178
ケインズの不均衡分析……………松	川 周 二	204
故日高正好教授略歴・主要著作目録……………		225

立 命 館 大 学 経 済 学 会

立命館経済学 第46巻・第3号

論 説

- 日本の林業・農山村と国土・環境問題……………奥 地 正
- EUにおける法人税制の「調和」の論理と構造……………浅 田 和 史
- 日本の海外直接投資の決定要因について……………稲 葉 和 夫  
——従来の実証研究の検討——

研 究

- リカードの労働価値理論について……………福 田 進 治

書 評

- 高木 彰著『現代経済学の基礎理論』（創風社，1996年）……………高 倉 泰 夫

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第46巻・第4号

論 説

- 産業構造の変化と国土・環境問題（上）……………奥 地 正
- 現代経済学における価値論について……………高 木 彰
- 米国における冷戦経済の形成……………藤 岡 惇
- 1997年11月の金融パニックについて……………福 光 寛
- 日本の海外直接投資の貿易効果について……………稲 葉 和 夫  
——従来の実証研究の検討——

発行所 立命館大学経済学会